

中区では、外国人住民と日本人住民が共により良く暮らすために、行政情報や暮らしのルール、社会の制度など生活に役立つ情報を多言語広報紙として中国語と英語でお伝えしています。

中区多言語広報紙
英語版 中国語版

備えよう!

台風や大雨の季節です

日本では、毎年6月から10月頃まで台風や大雨が発生し、多くの被害をもたらしています。
少しでも被害を抑えるために、事前の準備をしておきましょう。



台風や大雨の被害

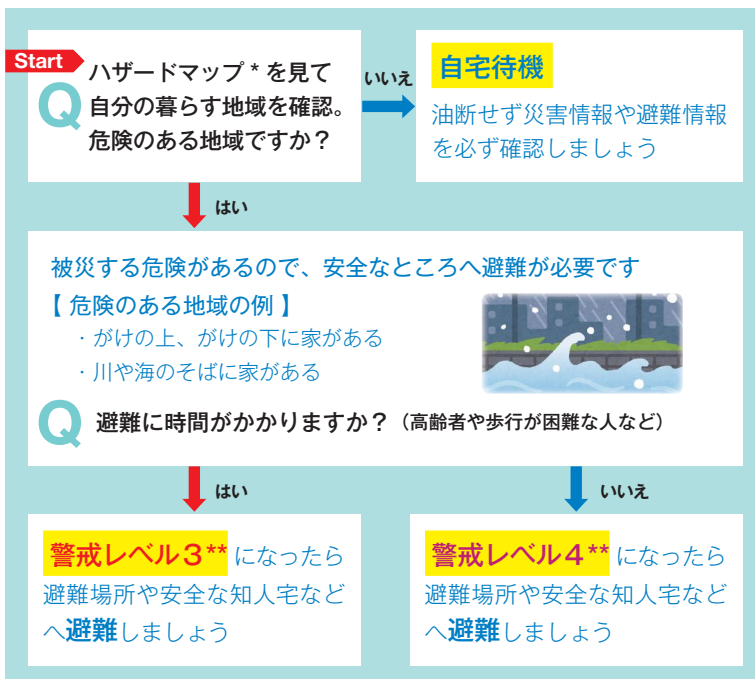
台風が来ると、強風で木や電柱が倒れたり、飛んできた物でケガをすることがあります。大雨が続けば、川の水が増水して氾濫したり（洪水）、下水道や水路から水があふれだし（内水）、道路が冠水したりします。また、土壌の水分が多くなって、がけ崩れなど（土砂災害）が発生することもあります。



※私たちの住んでいる中区でも被害が発生しています。
【左】花咲町（2014年）【右】本牧満坂（2017年）



とるべき行動をチェックしましょう!



* ハザードマップ P3 参照

** 警戒レベル

大雨などの際、避難行動や避難のタイミングをわかりやすく伝えるために「警戒レベル」を使っています。どこの地域に避難情報が発令されているかを確認して避難行動を開始しましょう。

警戒レベル	避難情報など	とるべき行動
5	緊急安全確保	命の危険 直ちに安全確保!
~~~~~ <警戒レベル4までに必ず避難!> ~~~~~		
4	避難指示	危険な場所から 全員避難
3	高齢者等避難	危険な場所から 高齢者等は避難
2	大雨・洪水・高潮注意報	自らの避難行動を確認
1	早期注意情報	災害への心構えを高める

# 台風や大雨が来ると分かったら

## 事前にできる対策をする！

### 不要不急の外出はやめましょう

- ・電車やバスが止まることがあるので、早めに帰宅する
- ・学校が休みになることがあるので、各学校からのお知らせを確認する

### 停電や断水に備えましょう

- ・ヘッドライトや電池、飲料水や生活用水を用意する

### 自宅周辺を確認しましょう

- ・外にある飛ばされそうなものは家の中にしまいか固定をする（物置なども飛ぶことがあります）
- ・雨戸やシャッターを閉める
- ・窓にテープを貼るなど補強し、カーテンを閉める

## 情報を入手する！

多言語で発信されている防災情報を確認しましょう

### ●ウェブサイト

神奈川県災害情報ポータル



NHK WORLD-JAPAN

(外国のことばによる災害・コロナの情報)



気象庁

(Multilingual Information on Disaster Mitigation)



### ●ツイッター

横浜市中区災害情報  
ツイッター  
(中区の避難情報などを配信)



### ●ラジオ

マリン FM 86.1MHz  
(中区のコミュニティ放送局)



## 日本語がわからなくてもテレビで状況を把握しましょう

- ・テレビの映像を見るだけでも状況を把握することができるので、日本語がわからなくてもテレビをつける（ローカル番組など）



## 避難をするときは ～命を守るために～



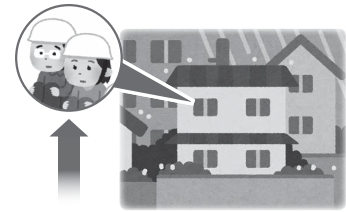
### 水平避難

土砂災害警戒区域や浸水想定区域になっていない知人の家や、避難場所などへ



### 垂直避難

丈夫な建物の2階以上、または近隣の高い建物へ



### 屋内避難

屋外へ避難するとかえって危険な場合には、家の上の階や、がけの反対側などへ

## 風水害時の避難場所

- ① 麦田清風荘 ..... 麦田町1丁目26-1
- ② 山元小学校 ..... 山元町3丁目152
- ③ 大鳥小学校 ..... 本牧町1丁目251
- ④ 上台集会所 ..... 本郷町2丁目50
- ⑤ みなと総合高等学校 ..... 山下町231

❗ 河川沿いやがけ沿いの道は避けて、安全な経路で明るいうちに避難しましょう。

❗ 避難場所では**物資の提供はない**ので、食料・水・防寒具・常備薬・タオルなど必要なものは**各自で用意**しましょう。また、感染症対策として必ず**マスク**を着用してください。

※その他の避難場所は、災害の状況に応じて開設します。

※避難場所では感染症対策が難しい場合があるため、自宅で安全を確保できる場合は、在宅避難に努めてください。また、知人の家への避難も検討してください。

※風水害時の避難場所は、震度5強以上の地震発生時に開設される地域防災拠点とは異なります。

「警戒レベル3」になると、がけ地のそばに住んでいる人などが避難するため、避難場所が開設されます。





問合せ先の応答は「英語対応」「中国語対応」と書いていないものは、日本語での対応になります。

## 第2期中区多文化共生推進アクションプランがスタートしました

中区では、国籍やルーツによらず誰もが安心していきいきと暮らせるまちを目指し、2017年に「中区多文化共生推進アクションプラン」を策定し、多文化共生に向けた施策を推進してきました。これまでの取り組みの成果などを踏まえ、2021年度から2024年度までを計画期間とする第2期アクションプランを今年3月に策定しました。

### 概要

#### 《ビジョン》

みんなヨコハマ中区人

～ともに中区の活力を生み出し未来をつくる担い手に～

出身地やルーツがどこにあっても、みんな中区に暮らすヨコハマ中区人です。異なる人たちが多様性の中で共に暮らすことで、中区をより豊かな社会とし、一人ひとりが大切にされると感じ、互いに認め合い暮らしていけるまちを目指します。

#### 《基本目標》

基礎的な支援の充実+地域とのつながりづくり

今後はこのプランに基づいて、区民の皆様や支援団体等と連携し、すべての区民が「オール中区」の一員としてともに活躍できる「多文化共生のまち」を目指していきます。

プランの全体版はこちら▶



## 中区に住む中国語を母語とする人のための妊婦教室のご案内(中国語通訳付)

母国語が通じない日本での子育てに不安はありませんか? 母国とは異なる出産や育児のやり方に戸惑いを感じることも多いかもしれません。同じ悩みを抱えるママ達と一緒に、日本での子育てについて考えてみましょう。

- ▶日時 9月2日(木) 10:00~12:00  
(集合)9:45 中区役所本館1階総合案内付近(会場は地域子育て拠点施設のんびりんこ)
  - ▶対象 中区に住む中国語を母語とする妊婦とその家族 計10名
  - ▶費用 無料
  - ▶申込 7月2日(金)からメール(右記2次元コード)で
- ※名前・町名・電話番号・出産予定日・参加予定人数を記載してください。



<多言語ナビかながわ TEL: 045-316-2770  
9:00~12:00/13:00~17:15  
(中国語:月曜・木曜)>

## 児童扶養手当の現況届提出は8月31日までです

「児童扶養手当」を受給中の人は、毎年8月31日までに現況届の提出が必要です。現況届を提出しないと、手当が受けられなくなります。郵便で届く案内(日本語)に書かれた必要書類を提出してください。

- ▶受付期間 8月2日(月)~31日(火)  
8:45~17:00
- ▶受付場所 中区役所本館5階  
(状況が確認できた人については、郵送での受付を試行します。)

<中区役所こども家庭支援課  
TEL: 045-224-8171>

知ってほしい!  
日本の文化



### お盆

現世に戻ってくる先祖の霊魂を迎え、先祖を供養する行事です。地域により異なりますが、8月中旬の4日間であることが多いようです。休暇に入る会社も多く、帰省をする人で交通機関はとても混雑します。

各家庭では、先祖が迷わないための迎え火を焚いたり、供え物を用意したりします。きゅうりとなすをそれぞれ馬と牛に見立てた飾り物は、先祖が行き来するための乗り物とされるもの。こちらに来るときには馬のように速く、帰るときには牛のようにゆっくりと、という願いが込められているとされています。

市・県民税(第2期分)の納期限は8月31日(火)です

市・県民税の納税通知書が届いた人は、この日までに第2期分の税金をコンビニ(バーコード付きの納付書のみ)、銀行などで納めてください。口座振替の手続きをさせていただくと便利です(この手続きには時間がかかります)。

国際サービス員 区役所2階23窓口  
(中国語)8:45~15:45 (英語)10:00~17:00

区役所業務の案内、窓口での通訳、諸証明を取るときの申請書の記載サポートなどを行います。日本語での手続きが不安な人は、声をかけてください。

これがわからない!

## Q&A



## 大雨が降る予報です。私の住んでいる地域は安全ですか?

大雨時に河川の氾濫等によって浸水した場合に、その地域でどの程度の被害が発生するかを想定し、まとめた地図があります。日本では、夏の台風の時期になると毎年のように豪雨が降ります。各種ハザードマップでその地域の状況を確認し、避難するときの行動を今のうちに考えておきましょう。

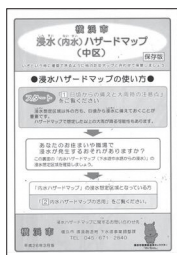
### 中区洪水ハザードマップ

大岡川水系の河川(大岡川、堀割川、中村川、堀川)の氾濫による浸水が想定される区域やその程度。



### 横浜市浸水(内水)ハザードマップ(中区)

下水道や水路がいっぱいになり、マンホールや雨水ます等から溢れて浸水を起こす恐れがある区域や水深などの情報。



### 横浜市土砂災害

#### ハザードマップ(中区)

豪雨でがけ崩れが発生した場合に、被害が生じる恐れがある区域。



### わいわい防災マップ

市域全体の風水害や地震時の危険性のほか、防災に役立つ情報。



### 即時避難指示対象区域

「土砂災害警戒情報」の発表とともに「避難指示」が発令される区域。





# 中区が誇る伝統行事 「お馬流し」

ちょっと出かけて  
みませんか

夏は日本各地で伝統的なお祭りや行事が執り行われますが、中区にも室町時代から400年以上に渡って引き継がれている伝統行事があると知っていますか？



「お馬流し」は、神奈川県無形民俗文化財、及び神奈川県民俗芸能五十選に指定されている、厄災を祓う行事です。1566年に始まり、大戦の戦火も戦後の接収も乗り越えて受け継がれ、2020年には第455回お馬流しが開催されました。19世紀後半に太陽暦が採用されてからは8月上旬の日曜日に行われていますが、それ以前は潮の干満を重視して大潮の日が祭日でした。

本牧神社の境内と背後の里山で育てられた茅で、首からは馬、胴体は亀の形の「お馬さま」が作られます。お馬流しの当日、本牧神社を出発した6体のお馬さまは、本牧の町内を巡行し、この間に地域の厄災がお馬さまに乗り移るとされています。お馬さまは本牧漁港へと進み、二艘の木造祭礼船に移されます。お馬さまを掲げた人々が船をめぐり一気に駆け下るさまは壮観です。

船は本牧の海を沖へ進み、あらゆる厄災が託された6体のお馬さまは一斉に海へ放流されます。流し終えた二艘の船は競争して帰ってきますが、これにはお馬さまに託した厄災から一刻も早く逃れる意味があるといわれています。



中区に暮らす外国人が発見  
日本の暮らしと文化

## 外国でも自分から情報収集を



来日した20年前、インターネットはそれほど発達しておらず、今のように便利ではありませんでした。外国人の私にとって、必要な情報を探すのはとても大変なことでした。

日本に来たばかりの頃は日本語も分からず、先輩達や、通っていた日本語学校から情報を得ていました。だんだん日本語が分かるようになって、テレビや新聞、雑誌等からも情報収集できるようになりました。

年々、在日外国人が増えると同時に、外国人向けの情報提供サービスも良くなってきていると思います。たとえば粗大ごみ

収集の申込みや防災情報など、いろいろなウェブサイトが多言語サービスを提供し始めました。このように母国語で情報を得られると、とても助かります。中区にも長年、外国語で外国人に情報提供する施設「なか国際交流ラウンジ」があり、外国人のための行政情報紙もそろっています。日本語が分かるようになったら、日本人の友達も作れ、情報収集がもっと簡単になります。みなさんにも自分に合うような情報収集の仕方を見つけてほしいと思います。

(なか国際交流ラウンジ中国語スタッフ)

活用してね！  
みんなが使える施設



区民なら誰でも利用できる、  
中区の区民利用施設を紹介します

## 地域子育て支援拠点「のんびりんこ」



「のんびりんこ」は、未就学児までの親子が一緒に過ごす場所。利用登録のうえ、無料で利用いただける施設です。親子が遊んで交流できる場を提供するほか、子育ての相談を受けたり、各種イベントを開催したりしています。スタッフが「ようこそ」の気持ちでみなさんを温かく迎えてくれますので、ぜひ遊びに行ってみてください。中国語が話せるスタッフもいます。

中区住吉町1-12-1 belle 横浜 3階  
TEL/FAX: 045-663-9715  
開館時間：10:00～16:00  
休館日：日曜・月曜・年末年始  
臨時休館をする場合あり

<多言語広報紙配布先を募集しています> 外国人の集まるお店や病院、機関など、ご希望があればお届けします。

次号は10月1日発行です